

リーダーたちの本棚

Leaders as Reader

VOL.
137

L ITを駆使して
持続可能な社会を
【率いる】
Leading

国内外の優れたITサービスや製品を発掘してつなぎ、今や社会基盤といえるITインフラを構築。通信キャリア、製造、小売り、商社、金融、官公庁など約10,000社の多様な領域にITソリューションを提供する伊藤忠テクノソリューションズ(略称CTC)。コロナ禍をはじめ外部環境が大きく変化する中、2021年3月期は最高益を達成した。

「国内の景気は依然として厳しい状況にありますが、情報サービス産業においては、テレワーク需要の増加や、通信キャリアの5Gの商用サービス提供開始を見据えた投資が追い風となっています。IoTやAIを活用した新製品や新ビジネスも次々と生まれており、この状況はしばらく続くと考えられます。ビジネスチャンスを逃さず、成長を目指していきます」と、柘植一郎社長。

ITを通じた社会課題の解決にも積極的に取り組んでいます。「例えば、クリーンなエネルギーや環境負荷の低減に貢献するデータ分析のシステム。また、災害から人を守るシミュレーションのシステム。あるいは、5Gで人と人、人と情報をシームレスにつなぎながら、高齢者や障害者が使いやすいサービスを提供するシステム。こうしたシステムの活用を企業や研究機関に働きかけるなど、あらゆる活動に『持続可能な社会の実現』という視点を取り入れています」

中核事業は、DX、クラウド、5G

中核事業は、DX(デジタルトランスフォーメーション)、クラウド、5Gだ。コロナ禍で生活が一変したこと、企業のDXに対する真剣度は上がっているという。

「データを有効活用し、新しい価値を生み出すDXがあらゆる領域で進展していくでしょう。CTCへの期待も高まっており、相談案件が増えています。DXというと、経営層の話に思われがちですが、DXによって変わるのは働く現場であり、一人ひとりの生活です。この事実を認識した上で、CTCらしい地に足の着いた施策や最適なシステムの実装を提案していきたいと思っています。DXの前提となるクラウドと5Gは当社の得意分野で、高速大容量・多接続・低遅延などを実現しています。5G、IoT、AI技術を組み合わせ、現場の業務を効率化し、サポートするようなインテリジェントなエッジコンピューティングも実用段階に入ってきた。DXの加速に対応できるインフラの構築と、提案力の向上をさらに進めています」

柘植社長の経営信条は、「現場・現実・実態」。コールセンターのアウトソーシングを行うベルシステム24の経営を担っていた際は、35,000人にのぼるコミュニケーションのパフォーマンスの向上のために現場の声を聞いて回り、職場環境の快適化などに努めた。

「CTCでも姿勢は同じ。コロナ禍で直接の対話を控えざるを得ず、隔靴搔痒の感もありますが、社員の7割がエンジニアなので、それこそITの力を借りて声を拾い、パフォーマンスの向上につなげていきたいと思っています」



伊藤忠テクノソリューションズ
代表取締役社長

柘植一郎さん

1958年東京都生まれ。80年慶應義塾大学経済学部卒。同年伊藤忠商事入社。2009年紙パルプ部長。12年執行役員。16年ベルシステム24ホールディングス代表取締役兼社長執行役員CEO。ベルシステム24代表取締役兼社長執行役員。20年6月から現職。

柘植一郎さんのおすすめ本棚



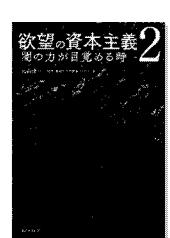
『世界史のなかの昭和史』
(平凡社) 半藤一利・著



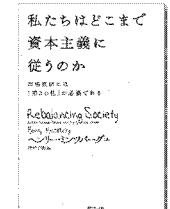
『巨象も踊る』(日本経済新聞出版)
ルイス・ガースナー・著 山岡洋一、
高遠裕子・訳



『[現代語抄訳]言志四録』
(PHP研究所)
佐藤一斎・著 岬龍一郎・編訳



『欲望の資本主義2』闇の力が
目覚める時』(東洋経済新報社)丸山俊
一・NHK「欲望の資本主義」制作班・著



『私たちはどこまで資本主義に従うのか
市場経済には「第3の柱」が必要である』
(ダイヤモンド社)ヘンリー・ミンツバーグ、
著 池村千秋・訳

経済や組織は合理性だけで機能しないことを訴えてきた『戦略サファリ』マネジャーの仕事の著者が、視野を社会全体に広げて語る、集大成的著作。

長く勤めた伊藤忠商事では、紙パルプなどの生活資材の部署にいました。グローバルビジネスにも携わり、ニューヨークとシンガポールに合わせて10年ほど駐在しました。その後、コールセンターのアウトソーシングを行なうグループ企業の経営を経て、昨年CTCの社長に就任しました。IT企業を率いるあたり、読み返した本があります。大企業病にかかっていたIBMを立て直し、製品からサービスへ、ハードからソフトへとビジネスモデルを転換させたルイス・ガースナーの著書『巨象も踊る』です。共感したのは、「実行こそが、成功に導く戦略のなかで決定的な部分なのだ。将来に重要なビジュアルを夢想するより、はるか20年前ですが、自ら先頭に立つて『実行』

ある頃からアメリカ流マネジメントの本が書店の棚を賑わすようになります。た、それらも手に取りましたが、どこか歐米の株主資本主義の限界を感じ、東洋思想に興味を持きました。その入り口として役立っているのが、有料のウェブメディア「テンミニッツTV」です。政治、経済国際、歴史、科学技術、思想、芸術など様々な分野の専門家による教養動画が視聴でき、どれも1話10分なので気軽に観ることができます。東洋思想では田口佳史氏の佐藤一斎論を面白く視聴し、それをきっかけに積ん読していく一斎の思想書『言志四録』や、一斎が自藩の岩村藩のために作った『重職心得箇条』に改めて目を通しました。一斎が多用した「志」という言葉の意味するところは、心を磨く努力を続けることでした。「風儀は上より起るもの也(社風はリーダー次第)」「政事は大小軽重の弁を失ふべからず(リーダーは物事の優先順位を見失つてはいけない)」といった箴言の数々を

第2回「政事は大小軽重の弁を失ふべからず(リーダーは物事の優先順位を見失つてはいけない)」といった箴言の数々を

私はどこまで資本主義に従うのか
Rebuilding Society
ヘンリー・ミンツバーグ
著 池村千秋・訳

経済や組織は合理性だけで機能しないことを訴えてきた『戦略サファリ』マネジャーの仕事の著者が、視野を社会全体に広げて語る、集大成的著作。

（談）

単純で理解しやすい言葉は、速度をもって心に届きます。さながらファストフードで、それはそれでおいしい。しかし、わかりやすければいいのか。これは常常々思っていることです。瞬わたりにくいやうでも入念な取材や膨大な知識に

言葉の価値は、速度ではなく質

広告特集

R
【読む】
Reading

通信、製造、金融、運輸、科学など多様な領域でITソリューションを提供する伊藤忠テクノソリューションズ(略称CTC)。昨年から同社を率いる柘植一郎さんの趣味は、フルート、料理、熱帯魚飼育、そして読んでいます



日々の戒めにしてい
ます。
映像メディアを
きっかけで読んだ本
の番組を書籍化した
「欲望の資本主義」シ
リーズです。特に第
2巻は読み応えがありました。フランスの経済学者・ダニエル・コーエンは、資本主義は市場経済とテクノロジーの組み合
わせだが、新しいテクノロジーの恩恵を受けた一方で、持続可能な社会に貢献する者との格差が広がっていると語ります。当社はテクノロジーを提供する会社です。そこで、未来からの警告として読みました。一方で、持続可能な社会の中で企業はどのように見誤つてはいけないのか。フルートやスタークリンなどとも多くありました。ヒトラーと民衆を危うさは企業経営にも言えます。グローバル社会におけるトップのあり方や個のあり方について、考えさせられる内容でした。

長く勤めた伊藤忠商事では、紙パルプなどの生活資材の部署にいました。グローバルビジネスにも携わり、ニューヨークとシンガポールに合わせて10年ほど駐在しました。その後、コールセンターのアウトソーシングを行なうグループ企業の経営を経て、昨年CTCの社長に就任しました。IT企業を率いるあたり、読み返した本があります。大企業病にかかっていたIBMを立て直し、製品からサービスへ、ハードからソフトへとビジネスモデルを転換させたルイス・ガースナーの著書『巨象も踊る』です。共感したのは、「実行こそが、成功に導く戦略のなかで決定的な部分なのだ。将来に重要なビジュアルを夢想するより、はるか20年前ですが、自ら先頭に立つて『実行』

に全力を傾け、言葉を尽くして社員にメッセージを送り続けたガースナーの経営姿勢には今も学ぶことが多いと感じます。

ある頃からアメリカ流マネジメントの本が書店の棚を賑わすようになります。た、それらも手に取りましたが、どこか欧米の株主資本主義の限界を感じ、東洋思想に興味を持きました。その入り口として役立っているのが、有料のウェブメディア「テンミニッツTV」です。政治、経済国際、歴史、科学技術、思想、芸術など様々な分野の専門家による教養動画が視聴でき、どれも1話10分なので気軽に観ることができます。東洋思想では田口佳史氏の佐藤一斎論を面白く視聴し、それをきっかけに積ん読していく一斎の思想書『言志四録』や、一斎が自藩の岩村藩のために作った『重職心得箇条』に改めて目を通しました。一斎が多用した「志」という言葉の意味するところは、心を磨く努力を続けることでした。「風儀は上より起るもの也(社風はリーダー次第)」「政事は大小軽重の弁を失ふべからず(リーダーは物事の優先順位を見失つてはいけない)」といった箴言の数々を

（談）